

令和6年度
仙台市の主要事業



ひと中心のまちづくりを 世界に通用するステージへ



—令和6年度施政方針から



仙台市長
郡 和子

初めに、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害に遭われた方々に対し心よりお見舞いを申し上げます。

昨年度は、脱炭素先行地域への選定など、多くのプロジェクトが動き出したほか、防災環境都市づくりが国際的にも高く評価された年でした。こうした動きを確かなものとし、都市機能を高めるためには、コミュニケーションの活性化と果敢なチャレンジが重要です。

新年度は、国内外に仙台を打ち出す絶好の機会です。国内外から選ばれる都市を目指し、ダイバーシティの視点からこのまちのあり様を見つめ直すため「仮称」ダイバーシティ推進会議」を立ち上げ、誰もが自分らしく輝ける環境を確立するとともに、最先端のリサーチコンプレックス形成に向け企業誘致を進めます。また、大学発スタートアップなど、若者の世界に向けた挑戦を応援していきます。「子育てが楽しいまち・仙台」

の実現に向けては、妊婦健康診査費用への助成を拡充するほか、不妊に関する検査と先進医療治療費用への助成を行います。さらに、男性の育児休業取得促進に向けた中小企業向け奨励金制度創設をはじめ、社会全体で子ども・子育てを支える体制の確立を推進します。

また、脱炭素先行地域における取り組みを加速するとともに、企業の脱炭素経営を後押しするなど、まちの脱炭素化を強力に進めます。

選ばれる観光都市を目指し、国内外でのトップセールスや国際会議の誘致を行うほか、安定的な財源を確保するため宿泊税導入に向けた調整を進めます。さらに、東北絆まつりの開催等を通じて、東北の交流人口の拡大を図ります。

将来にわたって都市活力を維持するためには、「ひと中心のまちづくり」を世界に通用するステージへと押し上げ、人や投資を呼び込むことが重要です。持続可能で誰一人取り残さない「社会の包摂的成長」を実現していきます。

未来の担い手を育み、生き生きと学べる環境の充実

特別支援保育の対象を重度障害児等に拡充するほか、「仮称」子ども誰でも通園制度」の導入に向けた試行事業を行います。公立保



子どもが自発的に自由な遊びを実現できる場の普及に取り組んでいます

育所と小・中学校の給食については、物価高騰による食料料費の増加分を負担します。併せて、仙台子ども財団の事業を通じて、多様な主体との連携を深め、仙台での子育ての魅力を発信します。

子どもの遊びの環境充実に向け、既存資源の活用やにぎわい創出につながる遊び場の検討を行います。また、学校や保育所等に芸術家を派遣する事業を実施します。

不登校支援では、在籍学級外教室「ステーション」を小学校へ拡大するほか、学びの多様な学校への通学やフリースクール等への通所支援、オンラインの居場所や学びの場の確保を行います。また、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に係る取り組みを強化します。

このほか、学生の移動支援と公共交通の利用促進に向け、新たな学生フリーパス制度を導入します。

都市個性を生かした賑わい・活力の創出とグローバルな魅力の発信

成長意欲の高い中小企業を継続的・集中的に支援するとともに、



令和5年度に実施した沿岸部のループバス実証運行について、期間やエリアを拡大して続けます

多様な人材活躍に向けた後押しや中心部商店街のにぎわいづくりに取り組みます。産学官連携により回遊性向上のための自動運転の実証などを実施するほか、スマート農業をはじめとする新技術を使ったモデル実証事業を行います。

交流人口拡大に向けては、新たな観光戦略を策定するほか、宿泊事業者の人材確保を支援します。

また、全国・国際規模のスポーツ大会誘致を進めるほか、文化芸術活動への助成を行うとともに、多様な文化コンテンツを生かし、まちの活力向上を図ります。

青葉山エリアにおいて、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の基本設計に着手するほか、勾当台・定禅寺通エリアでは、本庁舎等の再整備を着実に進めるとともに、一番町四丁目商店街の回遊性向上を図る取り組みなどを支援します。また、東部沿岸地域におけるループバスの実証運行や貞山運河の活用推進、せんだい農業園芸センターへの簡易宿泊施設の試行設置を行います。このほか、宮城総合支庁舎建て替えに

向けて基本構想を策定します。

世界防災フォーラムへの参画等を通して、防災・減災や復興の取り組みを継続的に国内外に発信していきます。

資源循環の推進においては、食品廃棄物をリサイクルするモデル事業のほか、デジタル技術を使ったごみ収集の最適化を図る実証実験に取り組めます。

安全・安心な暮らしを支え、自分らしく輝ける活躍の応援

女性登用に向けた啓発や人材育成支援により女性の活躍を一層後押しするとともに、性の多様性が尊重される社会の実現を目指し、理解促進のための取り組みやパートナーシップ宣誓制度の年度内導入に向けた検討を行います。また、映像通訳による多言語サービスを拡充するほか、障害のある方への差別解消・理解促進を図るため、ポータルサイトの構築や当事者との交流促進などに取り組めます。

若い世代の定着に向けては、結婚により新生活を始める若年世代への支援を行います。

子ども食堂の運営団体への助成継続に加え、課題を抱える家庭の小中学生に対し、基本的な生活習慣の習得等を支援します。さらに、昨年度実施したひきこもりニーズ



障害のある方が講師となり、企業等に行う「障害理解サポーター養成研修」などを通して、障害理解を促進します

調査の結果を踏まえ、フォロワーシップや情報発信、居場所支援などを強化します。

また、パーソナルヘルスレコーダの活用等による健康寿命延伸、デジタル機器を活用したフレイル予防などを展開するほか、敬老乗車証制度については、丁寧な説明に努めながら見直しを行います。

救急隊の増隊や救急情報システムの機能強化を進めるとともに、医療提供体制の充実を図ります。

福田町周辺等において、田んぼダムや流出抑制の実践・実証等により流域治水を推進するほか、宮城県による第五次地震被害想定調査の結果を踏まえ、今後の被害軽減に向けた行動計画を策定します。

◆ 新年度は、グローバルな視座に立ったまちづくりへの新たなチャレンジをスタートさせる画期となる1年です。笑顔と活力あふれる「The Greenest City」SENDAI」の実現に向け、力を尽くしてまいります。

未来の担い手を育み、生き生きと学べる環境の充実

すこやか子育てプラン推進

867億6844万円
 未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、児童館遊戯室へエアコンを設置するなど活動の場の充実に向けた取り組みを進めます。物価高騰による公立保育所や小・中学校の給食材料費増加分を公費により負担するなど安心して子どもを産み育てることができるよう目指して、各種施策を推進します。

妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実

768億9608万円
 就労要件を問わず、時間単位で柔軟に保育施設等を利用できる新たな保育給付の創設を見据え、「(仮称)こども誰でも通園制度」を試行的に実施し、多様な保育ニーズに応じた支援を強化します。また、特別支援保育の対象に重度の障害のある児童等を新たに加え、公立保育所における環境整備を行い、障害のある子どもへの支援の充実を図ります。

母子保健の充実

13億2047万円
 妊婦健康診査費用への助成額と助成回数を拡充するとともに、早期かつ適切な不妊治療の開始を促すため、不妊検査および不妊治療に係る先進医療に要する経費への助成を行います。産後ケア事業においては、住民税非課税世帯等の自己負担額を無料化するなど、利用促進を図ります。

地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり

4億9965万円
 男性の育児休業取得を促進するため、男性従業員が一定期間以上



「みんな子育てフェスタ」では、親子と一緒に楽しみながら子育てを学ぶことができます

の育児休業を取得した中小企業へ奨励金を交付します。また、公園等における自由な遊びを支える活動を支援し、子どもの遊びの環境の充実を図るほか、幼少期から文化芸術に触れる機会を創出するため、幼稚園や保育所等にアーティストを派遣する事業を実施するなど、社会全体で子どもの育ちを応援する環境づくりに取り組みます。

仙台子ども財団運営

9374万円
 子ども中心の社会づくりを目的に設立した「仙台子ども財団」に対して、子ども・子育て支援事業に係る運営費等を助成します。仙台子ども財団では、子育てに関する



市内の中小企業数社を「男性育休取得チャレンジ企業」に選定し、男性の育児休業取得をサポートします

る参加型のワークショップやセミナーを開催するなど、さまざまな団体と連携を深めながら、子ども・子育てを支える機運の醸成を図ります。また、専門家等によるサポートを通して、働く男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりを後押しします。

学校教育施設整備

218億1593万円
 老朽化した学校施設の増改築等を進めるとともに、増改築等の際の空調設備設置に関する条件整理を行います。また、当面増改築等のない学校の特別教室にルームエアコンを整備するほか、体育館へ大型冷風機を整備します。さらに、トイレの洋式化等により、良好な学校教育環境の確保につなげます。

35人以下学級の実施

6億4089万円
 35人以下学級編制を、小学6年生までに拡充し、小・中学校全学年に適用することで、教員がこれまで以上に子どもたち一人一人と向き合える体制を強化します。

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

不登校対策推進

7億8770万円
 不登校児童生徒等の学校内の居場所となる在籍学級外教室「ステーション」について、市立小学校10校に新設するとともに、市立中学校における設置校を25校から35校に拡充します。また、社会福祉上の諸課題に対して専門的助言指導のできるスクールソーシャルワーカーを配置する拠点校を20校から40校に拡充し、一人一人の状況に寄り添った環境づくりや適切な支援の充実を図ります。

学びの多様化学校・フリースクール等へ通う児童生徒への支援

756万円
 学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)に通う児童への就学援助・通学費支援を行うとともに、教育支援センター、フリースクール等の民間施設に通う児童生徒へ通所にかかる交通費を支援し、個々のニーズに応じた学習機会の確保につなげます。

いじめ防止等対策推進

17億9939万円
 いじめの未然防止と早期発見・早期対応につなげるため、指導の中核を担う教諭やスクールカウンセラー等を配置します。

特別支援教育推進

7億7608万円
 セラー等を配置します。「いじめ等相談支援室 S-KET」などの相談窓口を運営し、いじめに悩む児童生徒等への支援を行うほか、社会全体でいじめを防止するための広報啓発など、いじめ防止対策を総合的に推進します。

インクルーシブ推進教諭(専任)

7億7608万円
 の特別支援教育コーディネーター(専任)を5つのモデル校に配置するなど、障害のある幼児・児童生徒一人一人を大切にされた教育のさらなる充実を図ります。

GIGAスクール構想の推進

3億9182万円
 児童生徒の情報活用能力を育成し、多様な学びを通して豊かな創造性を育むため、ICTを活用し



ICTを活用して、児童生徒が自ら問題を発見し、解決を試みる「主体的な学び」につなげます

学校における働き方改革の推進

26億4318万円
 学校における人員体制の拡充を進めます。また、全市立学校に導入している校務支援システムに入力された情報を一つの画面に集約・可視化できるダッシュボード機能を導入し、児童生徒の状況の迅速な把握や効果的な施策展開に活用するなど、一人一人にしっかりと向き合える体制づくりに取り組みます。

新たな学生フリーパス制度

4億7724万円
 学生の移動支援と公共交通の利便性を図るため、宮城交通と交通局の路線バスが乗り放題となる新たなフリーパスを導入します。

科学館・天文台魅力向上

7億5637万円
 科学館における展示物の更新等

を通して、理科教育および防災教育の充実を図ります。また、より多くの市民が宇宙天文に興味を持ち、子どもたちが楽しく学べるよう、移動天文車「ベガ号」の車台の更新等を行います。



市内の公園や市民センター等で、移動天文車「ベガ号」による天体観望会を開催しています

その他の主要事業

- 確かな学力育成 3億8555万円
- 学習指導要領を踏まえた教育の充実 2218万円
- 仙台自分づくり教育推進 7364万円
- 社会全体で子どもを育てる環境づくり 5189万円
- 学都推進 1155万円
- 仙台市図書館振興計画推進 981万円

※4〜9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます ※金額はいずれも1万円未満切り捨て

都市個性を生かした賑わい・活力の創出とグローバルな魅力の発信

経済政策推進

228億5398万円
 地域経済のけん引役となる「地域中核企業」の輩出に向け、経営コンサルティングや人材育成などの重層的な支援を行うほか、仙台・東北でのスタートアップの立ち上げを目指す学生や若者等を後押しするなど、地域経済の活性化を図ります。また、一番町四丁目商店街において、定禅寺通活性化や本庁舎建て替え、勾当台公園再整備などのプロジェクトと連動を図りながら、拠点性の向上やさらなるにぎわいづくりを進めます。



スタートアップ支援拠点「仙台スタートアップスタジオ」を通じて、仙台・東北から世界を変えるスタートアップの創出を目指します

リサーチコンプレックス形成推進

10億6822万円
 次世代放射光施設「ナノテラス」を中核とした、最先端研究開発拠点や関連企業が集積するリサーチコンプレックスの形成を進めます。ナノテラスでの測定に要する経費の一部を補助するほか、測定事例の創出や専門家への相談機会を設けるなど、ナノテラスの活用促進を図ります。

農林業振興

18億6519万円
 6次産業化を推進し、農業の高付加価値化・高度化を支援するとともに、食料自給力の向上と安全・安心な農業生産を目指します。スマート農業や環境負荷低減のための新技術を生かした農業生産を展開するため、大学等と連携してモデル農場を設置し、実証事業を行います。また、せんだい農業園芸センターに簡易的な宿泊施設を試行的に設置し、海浜エリアの回遊性やニーズ等を検証します。

東北連携推進

5億131万円
 東北の各都市や関係団体等との連携を強化し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。仙台で開催する東北絆まつりを契機に、東北各地の魅力をPRし、東北への誘客を促進します。



東北の県庁所在地6市の6祭りが集結する東北絆まつり。東北の伝統文化など多彩な魅力を国内外に発信します

観光振興

12億8931万円
 国内外に向けた情報発信や観光客の受け入れ環境整備、国際会議の開催支援を進めるとともに、多彩なコンテンツの拡充等により、さらなる交流人口の拡大につなげます。宿泊事業者の人手不足解消

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

青葉山エリアのまちづくり

5億6万円
 青葉山エリアの価値や機能を高めるため、滞在環境の整備やプロモーションを一体的に展開します。本市の文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点の複合整備に向け、基本計画を策定し、基本設計に着手します。また、仙台城大手門復元関連基礎調査を含む総合的な調査を実施し、景観づくりの強化を進めます。

勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり

50億8514万円
 市役所本庁舎の建て替えに当たり、新庁舎の建設に着手するとともに、新庁舎との一体的利活用を見据えた勾当台公園の再整備を進めます。定禅寺通エリアにおける公民連携による活性化の取り組みを促進するなど、市中心部ににぎわいや交流の創出を目指します。

海浜エリア活性化

24億3373万円
 海浜エリア活性化ビジョンに基づき、東部沿岸地域の持続的にぎわいづくりに向けた取り組みを進めます。深沼海水浴場を実証的

全国都市緑化フェアレガシー

518万円
 全国都市緑化フェアの開催により培った市民協働による花やみどりや育む取り組みを次世代へとつなぐため、フェア会場の花壇の一部について、市民協働による維持管理を進め、フェアのレガシーにしていきます。まちなかの花壇や公園を支える人材のネットワーク化の仕組みの構築や、新たな担い手の育成に向けた研修会等を実施します。

防災環境都市づくり推進

6814万円
 仙台防災未来フォーラムの開催等を通じて、多様な市民の主体的



市民の方々とともに、フェアで使用した花壇の植え替え作業等を行っていきます

防災環境都市づくり推進

6814万円
 仙台防災未来フォーラムの開催等を通じて、多様な市民の主体的

脱炭素都市づくり等推進

10億1045万円
 市民・事業者と連携しながら地球温暖化対策に取り組み、脱炭素都市づくりを進めます。定禅寺通、泉パークタウン、東部沿岸の各エリアの一部において、ビルや住宅の脱炭素リノベーション等を推進し、電気の使用に伴う二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「脱炭素先行地域づくり」に取り組みます。また、中小企業等における省エ



国により認定を受けた脱炭素先行地域の選定証授与式。民間事業者や地域団体等の皆さまと連携して取り組みます

を図るため、採用活動や外国人材の活用等へ支援策を講じます。また、るーぶる仙台でのキャッシュレス決済導入に向けた実証実験を行うなど、来訪者が安心して快適に過ごせる滞在環境を整備します。

インバウンド推進

2億1557万円
 外国人観光客のさらなる誘客に向け、魅力的な観光コンテンツや受け入れ環境の充実を図ります。タイや台湾などとの交流拡大や仙台空港の利用促進に向けて、トッピーセールスなどの戦略的なプロモーションを実施するほか、アウトバウンド推進にも取り組みます。

文化振興

6億7993万円
 あらゆる市民に文化芸術の享受・創造の機会が開かれるよう、「楽都仙台」や「劇都仙台」をはじめとした多様な文化振興事業を展開します。社会課題と向き合う公共性の高い文化芸術活動などを行う団体に対し、助成や広報等の伴走支援を行います。

資源循環都市づくり推進

85億7573万円
 ネ・再エネ設備等の導入や窓断熱改修への補助等、事業者向け施策をパッケージ化し、脱炭素経営を後押しします。

飲食店から排出される食品廃棄物のリサイクルを推進するモデル事業を定禅寺通等で実施します。また、将来の生活ごみ収集運搬体制の在り方を検討するため、デジタル技術を活用したごみ収集の最適化を図る実証実験を行います。

その他の主要事業

- スポーツ推進 10億2170万円
- 文化財史跡整備推進 1億6061万円
- 地域づくりパートナーシップ推進 2億1462万円
- 地域づくりパートナーサポート 6億510万円
- 都心再構築プロジェクト 14億5880万円
- 広瀬川創生・清流保全 1876万円
- ガス事業の民営化 2376万円
- 八木山動物公園整備 5億4026万円

安全・安心な暮らしを支え、自分らしく輝ける活躍の応援

ダイバーシティ推進

4000万円

国籍や年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、誰もが活躍できるまちを目指して「(仮称)ダイバーシティ推進会議」を設置します。取り組みの方向性等を取りまとめるとともに、イベント等を通じた機運の醸成や、今後増加が見込まれる海外からの研究者や留学生の受け入れ環境整備を行います。

男女共同参画の総合的推進

14億3111万円

男女が互いに尊重し合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる



「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」では、リーダーとしてのスキルアップを図ります

きる社会づくりを目指し、男女共同参画を推進する各種事業を進めます。女性活躍機会の促進に関するイベント等を開催するほか、企業における女性管理職等の登用にに向けた啓発や人材育成支援を行います。また、パートナーシップ宣誓制度の導入や企業・市民の理解促進に向けた各種事業を実施し、性の多様性を尊重し合う環境づくりを加速させます。

子ども・若者育成支援

2億939万円

結婚して新生活を始める若い世代向けに、新生活に要する家賃や引っ越し費用等を補助します。また、ひきこもり状態にある方や困難を抱える若者、不登校児童生徒等を対象としたオンラインの居場所を開設し、同じ悩みを抱える方同士の交流や専門職による個別相談の場を提供するとともに、学習支援を実施します。基本的な生活習慣の習得等を目的とした居場所「サードプレイス」を開設し、課題を抱える家庭の小学生の支援を試行的に行います。

障害者保健福祉の推進

389億9281万円

共生社会の実現に向け、障害理解や社会参加と就労の促進、障害児支援の充実など、各種施策に取り組みます。障害理解に向けたポータルサイトを新たに構築するほか、障害のある方のアート作品を、建て替え工事中の市役所本庁舎の仮囲いに掲出します。また、ひきこもりに関する市民調査結果を基に個々のニーズに応じた支援を実施します。

介護人材確保

3192万円

将来にわたり介護サービスを安定的に提供できるよう、介護助手の活用促進や外国人材の受け入れに係る各種支援等により、多様な人材の確保を図ります。

介護予防・日常生活支援総合事業

33億9658万円

高齢者が健康で生きがいを感じながら生活できるよう、介護予防

や生活支援サービスを提供するとともに、介護予防活動の担い手育成や活動の場づくりなどに取り組みます。また、地域での運動教室の開催やデジタル機器の活用により、フレイル予防を推進します。

高齢者保健福祉の推進

62億8308万円

高齢者の社会参加の促進をはじめ、健康と元気を応援する地域づくりや活動への支援、自立した生活を続けるための生活支援体制づくりなど、高齢者が地域で安心して自分らしく暮らすことができる社会の実現を目指して、各種施策に取り組みます。



eスポーツの体験会の開催を通じて、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを推進します

令和6年度の予算については、仙台市ホームページ（サイト内検索で「仙台市の財政」と検索）をご覧ください



日中に活動する「デイトタイム救急隊」を1隊増隊し、市中心部の救急需要に対応します

救急体制整備

10億2096万円

救急医療を提供する医療機関の

医療政策推進

13億6313万円

将来にわたり持続可能な医療提供体制を確保するため、仙台市医療政策基本方針に基づき、救急医療体制の確保や、在宅での療養生活を支える事業所への支援など、医療政策推進に向けた取り組みを実施します。

ヘルスケア向上推進

32億7428万円

「健康の都せんだい」の実現に向け、個人の健康・医療・介護に関する情報であるパーソナルヘルスレコードの活用や、未来型健康フォワードの実施などを通して、市民の健康づくりを推進する機運醸成や環境整備を図ります。

仙台市流域治水推進モデル事業

8971万円

福田町エリアをモデル地区として、国の推進する「流域治水」の先行事例となる取り組みの実践・実証を行います。氾濫の防止・軽減のための対策として、大雨時に水路や河川の急激な水位上昇を抑制する「田んぼダム」の実施に向けた調査・検討をはじめ、排水施設の整備や改修等に取り組みます。

安全・安心確保の取り組み

28億450万円

津波防災対策などの安全・安心確保の取り組みを進めるとともに、震災の経験と教訓を生かした「防災・仙台モデル」の構築を図ります。宮城県第五次地震被害想定調査において想定された、巨大地震・津波による被害および社会への影響等について、本市の対策をまとめた行動計画を策定します。

その他の主要事業

- 多文化共生推進 7602万円
- ユースチャレンジ推進 1569万円
- 機能集約型都市づくりの推進と良好な居住地域づくり 52億7842万円
- 暮らしや経済の再建に向けた取り組み 22億8942万円
- 地域安全対策 7546万円
- 公共交通活性化等推進 9億7651万円
- 地域福祉の推進 10億3530万円
- 感染症対策 53億5389万円
- 都市計画街路整備 31億6089万円
- 市営住宅建設等 41億875万円
- 地域施設整備 41億3893万円
- 災害活動体制充実強化 33億9819万円
- 道路新設改良 89億2957万円
- 橋りょう整備 44億6563万円
- 公園整備 32億183万円

職員の意識と行政運営の改革

Full Digital 市の役所

9億6680万円

行政サービス・事務事業にデジタル技術を浸透させ、業務プロセスの再構築を行い、徹底的な効率化を図るとともに、市民の多様なニーズに合わせた行政サービスを提供します。

人材育成推進・組織力強化

2237万円

職員研修の充実、効果的な人事管理などにより、意欲ある職員の育成を進めるとともに、コンプライアンスの推進などを通じた組織力の強化を図ります。

その他の主要事業

- 総合計画の推進 3249万円
- 公共施設マネジメントの推進 553億8386万円
- 市税等の収納率向上対策 2億3881万円
- 総合コールセンター運用 9015万円
- 公民連携の推進 105万円

青葉区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「青葉区民まつり」、「宮城地区まつり」等を開催するほか、区民主体の各種イベントを支援します。また、地域の課題解決や活性化等に取り組む活動への助成を行います。



地域の学校や団体等が伝統芸能やダンス、楽器の演奏などを披露する「宮城地区まつり」の多彩なステージ

未来につながる地域力推進事業

地域に向いて町内会を支援する「出前まちづくりサポートセンター」の運営やマンシヨンコミュニケーション強化、学生の参加による地域づくり推進、作並・新川地区活性化、仙台東本さくらプロジェクト等に取り組めます。また、先端技術等を活用し、少子高齢化等が進む宮城地区西部における地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。「Fun, Fan, Find 青葉一事業」

大町・西公園エリア等において、憩い楽しめる環境づくりを進めるとともに、周辺エリアとの回遊性向上を図ります。



大町西公園駅周辺の沿道で昨年実施した「AOBA MARCH」では、にぎわいと交流が生まれました

宮城総合支所庁舎等建替事業

老朽化する庁舎の建て替えについて、拠点機能強化に向けた基本構想の策定と、宮城保健センター再整備の検討を行います。

片平児童館建設

落合保育所建設

学校教育施設整備

片平丁小学校、中山小学校、北仙台中学校の校舎等増改築工事を行います。

貝ヶ森市民センター大規模修繕

旭ヶ丘駅前公共施設整備

広瀬文化センター大規模修繕設計

小島島コミュニティ・センター改築設計、改築工事

川内コミュニティ・センター大規模修繕設計

道路整備

高畑定義線、愛子赤坂線等の整備を行います。

橋りょう整備

落合橋等の整備や仙台駅西口ペDESTリアンデッキ等の補修工事を行います。

公園整備

勾当台公園、西公園、中山台一丁目公園等の整備を行います。

宮城野区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「みやぎの・まつり」の開催や「宮城野盆唄」の普及をはじめ、子育て支援、防災、地域の魅力発信などに取り組むほか、公募によるまちづくり活動への助成を行います。また、次代のまちづくりを担う若手人材の育成を目的としたセミナー等を開催し、地域との交流を深め、ネットワークづくりを促進します。



若い世代が、まちづくりについて活発に意見交換を行う「みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業」

未来につながる地域力推進事業

多様な主体の連携による地域づくり活動を進めるため、情報共有・課題検討を行う勉強会や、実践につながるワークショップの開催等を支援します。「海浜エリア活性化事業」

地下鉄やJRの駅と仙台塩釜港周辺を結ぶバスの試験運行や、未来を担う世代に向けた震災伝承の取り組み等を、地域や事業者と連携しながら進めます。



沿岸部近くの岡田小学校では、津波被害を受けた海浜植物を再生させるため、海辺で採取した種を育てて現地へ植栽しています

子どもの頃からの健康づくり事業

児童等を対象に、心と体の健康づくりに取り組めます。

高砂市民センター大規模修繕

岩切市民センター大規模修繕設計

鶴ヶ谷コミュニティ・センター改築設計

鶴ヶ谷東コミュニティ・センター大規模修繕設計

鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備推進

福田町駅移転に伴う駅周辺施設の整備

福田町駅移転に併せて、車両乗降場等の施設や周辺道路整備について設計を進めます。

道路整備

元寺小路福室線外線、中野寺前北上線等の整備を行います。

橋りょう整備

高瀬町歩道橋等の補修工事等を行います。

公園整備

高砂中央公園、鶴ヶ谷中央公園等の整備を行います。

若林区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「若林区民ふるさとまつり」や「若林わくドキまち歩き」など、地域の特色を生かし、魅力を発信するイベント等を企画・開催します。また、地域の活性化を図るため、公募により市民団体が自発的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。



歩きながら区の歴史や文化に触れることのできる「若林わくドキまち歩き」

未来につながる地域力推進事業

地域の課題解決や活性化を図るため、東北学院大学と地域が連携・協働する取り組みを推進します。



東北学院大学の学生が制作した南材地区の魅力伝える動画の上映会

また、町内会や地域団体等による地域課題の解決に向けた主体的な取り組みを、伴走型で支援します。

海浜エリア活性化事業

東部沿岸地域の持続的なにぎわいづくりを推進するため、多様な主体と連携・協働しながら海浜エリアの回遊促進や魅力発信に取り組めます。また、貞山運河の利活用に向け、実証実験等を行います。

若林区地域健康づくりちよいいチャレンジ事業

沖野地区の住民や地域団体を対象に、関係機関と協力しながら健康づくりの実践を支援し、地域の健康増進を目指します。

区役所庁舎大規模改修工事

施設の利便性向上と長寿命化を図るため、区役所庁舎の大規模改修工事を行います。

せんだい農業園芸センター宿泊・回遊モデル実証実験

若林区文化センター大規模修繕

遠見塚コミュニティ・センター大規模修繕

連坊コミュニティ・センター大規模修繕設計

道路整備

長喜城霞目線、霞目飛行場北線、南小泉茂庭線（宮沢橋）等の整備を行います。

公園整備

海岸公園、長喜城東公園等の整備を行います。

太白区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「太白区民まつり」や「まつりだ秋保」を開催するほか、大学との協働により、若者のまちづくり活動への参加を支援します。また、公募により市民団体が取り組むまちづくり事業への助成を行うなど、地域づくり活動を支援します。



地域団体等が出演し、歌や演奏、ダンスなどが披露される「太白区民まつり」のステージ

未来につながる地域力推進事業

多様な主体との連携により、各地域の活性化と地域力の向上を図ります。生田・坪沼地区では、農業を軸とした地域づくりを支援するほか、秋保地区では、魅力ある体験観光の創出等による交流人口拡大に取り組めます。進めます。



子どもから大人まで収穫の喜びが味わえる「さかいの地区創生会」のサツマイモ・サトイモ収穫体験

長町・歩いて楽しい街並み形成促進事業

官民連携推進会議を立ち上げ、歩道・道路空間や空き店舗を活用した社会実験を行うなど、基本計画の策定に向けた取り組みを進めます。

太白遊びの担い手育成事業

公園等を活用した体験型プログラムやワークショップの実施により、担い手の発掘および育成を図るとともに、子育てを応援する地域づくりにつなげます。

健康教育、相談支援の推進

学校や地域と連携した「たいはく思春期のいのちの授業」や、障害のある方・高齢者への包括的な相談支援を行います。

郡山遺跡整備

史跡地の公有化や整備を進めます。

学校教育施設整備

上野山小学校、長町中学校の校舎等増改築工事を行います。

生田地域複合施設建設設計

芦の口コミュニティ・センター大規模修繕

道路整備

郡山折立線、烏宮前街道1号線等の整備を行います。

橋りょう整備

熊野宮橋等の整備や、境野橋等の補修工事、太白大橋の補修および耐震工事を行います。

公園整備

湯元公園等の整備を行います。八木山動物公園整備

泉区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「泉区民ふるさとまつり」や「七北田川クリーン運動」、「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」などのイベントを開催します。また、大学生や高校生による地域づくり活動や安全・安心なまちづくり活動を支援するほか、公募により区民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。



▲「七北田川クリーン運動」でのアユ放流会

未来につながる地域力推進事業

▼「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」では、ステージイベントや体験コーナーを通して、泉ヶ岳の魅力を発信します



未来につながる地域力推進事業

泉西部地区における住民主体の活動や魅力発信への支援を行うとともに、泉ヶ岳の利活用促進に向けて、民間事業者等との連携促進を図ります。また、地域住民等が民間事業者や地域おこし協力隊等と協働し、郊外居住地の課題対応や活性化に向けて行う取り組みを支援します。

泉区の市民健診受診率向上事業

令和5年度に実施した市民健診に関する実態調査の結果を活用し、より効果的な受診勧奨等を進めます。

区役所庁舎建替事業

泉区役所を建て替えるとともに、建て替えにあわせた泉中央地区の活性化に取り組めます。

学校教育施設整備

黒松小学校の校舎増改築工事を行います。

市民センター大規模修繕（松陵、黒松、長命ヶ丘）

寺岡市民センター大規模修繕設計

道路整備

泉塩釜線、長命ヶ丘幹線3号線等の整備を行います。

橋りょう整備

泉中央駅ペDESTリアンデッキ等の補修工事や、新早坂下橋の補修および耐震工事を行います。

公園整備

将監ふれあい公園、泉中央5号公園等の整備を行います。

令和6年度予算のあらまし

一般会計では、保育施設等への給付費や学校建設費等の増加などにより、前年度比334億円増の6,481億円と、当初予算では過去最大の規模となりました。

また、特別会計は公債管理特別会計における公債費の減少などにより23億円減少、企業会計は高速鉄道事業における建設改良費の増加などにより34億円増加し、一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算総額は1兆2,236億円と、震災以降引き続き1兆円を超える規模となりました。

歳入 市税収入や国庫支出金が増加

市税収入は、土地に係る評価替えによる固定資産税の増加などにより、18億円増加しました。また、国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増加などにより、27億円増加しました。

歳出 義務的経費・投資的経費ともに増加

【目的別の歳出】 保育施設等への給付費などが増加した健康福祉費が2,486億円（38.4%）となり、最も大きな割合を占めました。次いで学校建設費等が増加した教育費が1,161億円（18.0%）、土木費が651億円（10.0%）、公債費が591億円（9.1%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障関係費等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、職員の退職手当の増加や、子育て関連の事業費の増加などにより、前年度に比べて212億円の増加となりました。また、投資的経費は、学校建設費等が増加したことなどにより、前年度に比べて168億円の増加となりました。

3つの柱を基軸に重点的な予算配分

本市の財政は、物価高騰の影響によるコストの増加に加え、社会保障関係費や公共施設の長寿化対策等に係る費用が増加していく見込みであることから、将来にわたり持続的な財政基盤を確立していくことが重要となっています。

このような中、本年度予算においては、基本計画に掲げる都市像「The Greenest City SENDAI」の実現に向け、「未来の担い手を育み、生き生きと学べる環境の充実」、「都市個性を生かした賑わい・活力の創出とグローバルな魅力の発信」、「安全・安心な暮らしを支え、自分らしく輝ける活躍の応援」の3つを柱に据え、重点的な予算配分を行い、各般の施策に取り組んでいきます。

予算についてのお問い合わせは
財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、
または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

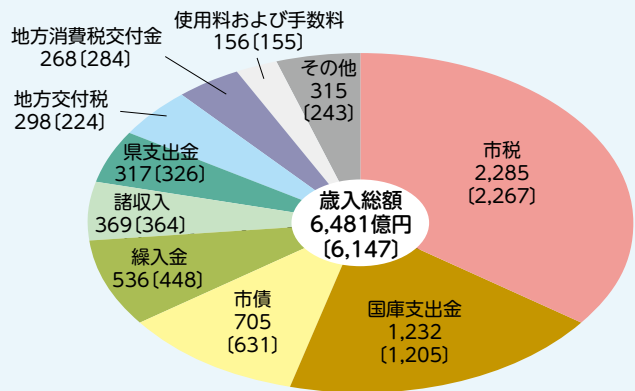
令和6年度の会計別の予算規模

	令和6年度（前年度比）
一般会計	6,481億円（334億円増加）
特別会計	3,180億円（23億円減少）
企業会計	2,575億円（34億円増加）
合計	1兆2,236億円（345億円増加）

歳入内訳（一般会計）

（単位：億円）

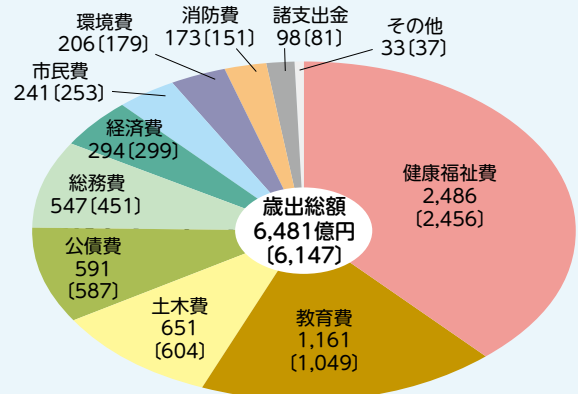
※〔 〕内の数字は令和5年度当初予算の金額



【目的別】歳出内訳（一般会計）

（単位：億円）

※〔 〕内の数字は令和5年度当初予算の金額



【性質別】歳出額（一般会計）の推移

（単位：億円）

